

平成18年度  
第2回美の里づくりコンクール

農村振興局長賞

きたしょう

く め なん

北庄中央棚田天然米生産組合（岡山県久米南町）

“「癒しの里 北庄」の創成 ～都市との交流等により苦農から楽農へ～”

■活動の概要

岡山県のほぼ中央部に位置する久米南町の北庄中央地区は、すり鉢状の急傾斜地の底から、わずか2a程度の小さな水田が段々と積み重ねられた棚田が見られます。地域一帯は美林に囲まれ、人と自然が奏でる造形が見事であり、この農村の原風景を求め、年間を通じ多くの都市住民が訪れます。

北庄中央棚田天然米生産組合は、先人から引き継いだ棚田を活かし、棚田天然米産地の育成を図るために、平成6年5月に北庄中央地区の農家<sup>いまずりまい</sup>24戸の参加を得て発足しました。棚田で収穫された米は、今摺米として道の駅「くめなん」での販売や、年間契約者等に直販され、棚田米の人気は高まりつつあります。組合員は、高齢による肉体的な衰えを感じつ

つも、都市住民や地元小学校児童等との交流を通じ、棚田の農作業にやりがいを見だし“苦農”から“楽農”へと発想の転換を図り、今日まで営農活動を続けています。

■講評

棚田天然米生産組合は、75歳以上の高齢者が活動の主体となっている。「苦農より楽農へ」のスローガンのように、写真を介した棚田ファンクラブなど都市住民の力も借り、評判の高い棚田米（今摺米）を楽しく作っているところが評価されました。この活動により都市と農村の交流活動が盛んになり、集落の活性化が図られたのと同時に、小学生たちに農作業を通じて農業の大切さと山村のもつ重要な役割を教えた点が素晴らしい。



朝靄に煙る棚田



空を映す田んぼ



収穫時期の棚田



棚田の雪景色